

## ご予約から受診までの流れ

予約

再生医療は完全予約制とさせていただきます。電話にて受診希望日時をご連絡ください。

問診

治療適応の場合、PRP・APS療法について説明を行います。効果、安全性など疑問をお持ちの方は、ご遠慮なくお聞きください。  
初診時に患部のMRI、CT等の画像データをお持ちください。お持ちでなければ当院にてMRIの撮影を行わせていただきます。

採血

患者様の血液をPRPでは26～52ml、APSでは約55ml採取いたします。



加工

専用のキットを用いて、PRP・APSを抽出します。



注入

抽出したPRP・APSを疾患のある患部に注入します。



治療当日の工程にかかる所要時間は、およそ1時間程度です。入院の必要はなく日帰りで帰宅することができます。

※治療当日は、飲酒や激しい運動、入浴はお控えください。

## 費用について

種別	料金
PRP療法(筋腱靭帯)	150,000円(税込)
APS療法(関節)	400,000円(税込)

※PRP療法・APS療法は、日本ではまだ保険診療として認められていないため、治療を受ける方は自由診療となります。

※PRP療法・APS療法は再生医療のひとつですが、先進医療や高額医療の補助の対象とはなりません。治療実施日の痛み止めや湿布の処方、および検査もすべて自費となりますのでご注意ください。

完全  
予約制

初診の方にカンタン・安心。  
パソコンからご予約できます。

初診の方に向けて、パソコンからのオンライン予約システムを導入しています。  
もちろん、お電話からのご予約も可能です。  
どうぞお気軽にご予約ください。

大阪ベイクリニック

<https://www.morinomiya-u.ac.jp/osakabay-clinic/>

お電話・WEBよりご予約いただけます。

お気軽にお問い合わせください。

※当クリニックは再生医療2種3種を取得している施設です。



## ACCESS



大阪地下鉄(Osaka Metro)中央線  
「コスモスクエア」駅3番出口より  
南へ約90m(徒歩約1分)

### ●駐車場のご案内

提携駐車場(NBパーキングコスモスクエア駅前)の割引サービスを提供しています。受付にて駐車券をお渡しください。

クリニック横に車いす使用者駐車スペースがあります。こちらもご利用ください。

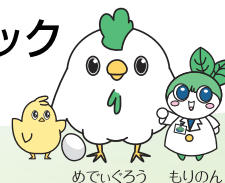


森ノ宮医療大学附属

大阪ベイクリニック

大阪市住之江区南港北1-26-16  
森ノ宮医療大学キャンパス内

Tel. 06-6655-0057



めでいくろう もりのん

## 新たな再生医療 PRP、APS療法について



森ノ宮医療大学附属

大阪ベイクリニック

大阪市住之江区南港北1-26-16  
森ノ宮医療大学キャンパス内

<https://www.morinomiya-u.ac.jp/osakabay-clinic/>

## PRP(多血小板血漿)療法

### ケガや関節の痛みに、新たな選択肢の治療法

国内では歯科口腔外科や形成外科分野での使用に始まり、近年は整形外科領域でも様々な分野での臨床使用の報告がありますが、その成績に対する見解は一定しておらず、まだ治療法としては確立されていません。

しかしながら、スポーツ障害などに対して低侵襲な治療かつ早期回復などの臨床成績の報告もあることから、今後の発展が期待されている再生医療のひとつです。海外では2000年頃からサッカー選手やメジャーリーガーのケガの治療などにPRP療法が使われ、日本でも整形外科分野でスポーツなどによる肘やひざの痛み、腱や筋肉の損傷などで、ステロイド剤を使わない新しい治療法として注目されてきました。

当院はPRP治療に関して、厚生局より承認を得た施設です。PRP治療の経験豊富な医師が看護師と連携し、採血からPRP作成まで行っております。

### PRP療法の対象となる方

- 慢性化してしまった症状を完治させたい方
- 定期的にステロイド治療を受けている方
- 薬剤アレルギーが心配で治療が受けられない方
- スポーツをしていて早期治療を希望する方

### 整形外科分野でPRP療法の報告がされている事例

- テニス肘
- 野球肘
- ゴルフ肘
- 足底腱膜炎
- 筋挫傷
- 肉離れ
- 膝蓋腱の炎症(ジャンパーズニー)



### PRP療法の治療効果

個人差はありますが、治療後1~3週間程度で効果が表れます。1回の治療で6~12か月間は効果が持続するといわれています。

PRP治療は自分自身の治癒能力を引き出す治療法なので、従来の痛み止めの内服などで症状が改善されなかった患者様にも効果が期待できます。

## APS(自己タンパク質溶液)療法

### ひざ・関節の痛みに、次世代PRPの治療法

ひざ関節症の関節内(右図)では、軟骨の破壊成分を作り出す炎症性サイトカイン(IL-1、TNF $\alpha$ )という悪いタンパク質の働きが活発になっています。悪いタンパク質は軟骨の破壊成分(MMP)の生産を促進し、炎症を悪化させ関節の痛みを増加させます。これを放置すると軟骨の破壊が進み、最終的にはひざ関節機能が失われ、軟骨全体の変性が進みます。

APSはPRPから抗炎症成分など関節の健康に関わる成分を取り出したものです。PRPは主に筋・靭帯や腱などの組織修復を促すことが期待されていますが、APSは関節症治療への応用が期待されています。

これまで変形性関節症の治療は、ヒアルロン酸投与や人工関節手術などが中心でしたが、関節の痛みの特化した再生医療、次世代PRPの「APS療法」が当院で実施できるようになりました。

### APS療法の対象となる方

- 膝が痛くて歩きにくい方
- ヒアルロン酸注射を何度も打っている方
- 痛みが改善しないが、手術は受けたくない方



### APS療法の治療効果

個人差はありますが、治療後1~4週間ほどで組織の修復が起こり始め、治療後2週間~3ヶ月までには効果が期待できるとされています。

海外での臨床試験では、中程度までの変形性膝関節症において、1回の注入で最大24ヶ月間に渡って改善効果が継続したとの報告もされています。

